

WR6650SはIEEE802.11aの新チャンネル (W52/W53) 対応であるため、従来チャンネル (J52) 対応の子機からのIEEE802.11aモードでの接続はできません。その場合はIEEE802.11g+bモードでご利用ください。従来チャンネル (J52) に対応したAtermシリーズ子機のバージョンアップ対応など最新情報については、ホームページAtermStationをご確認ください。

本書は、読んだあと大切に保管してください。

ワイヤレスセット (SE) 用

Aterm WR6650S ワイヤレスセット (SE)

PA-WR6650S/SE

つなぎかたガイド

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。取扱説明書 P. x ~ は本商品の取扱説明書をご覧ください。

Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. ※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Ultimateの各日本語版かつ32ビット (x86) 版のみに対応しています。Mac、Macintoshは米国およびその他の国々で登録されたApple Computer, Inc. の商標です。JavaScript®は米国Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2005-2007. © NEC AccessTechnica, Ltd. 2005-2007

100 市販配合率100%の再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています

箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありましたら、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

<input type="checkbox"/> WR6650S 無線LAN アクセスポイント (親機)	<input type="checkbox"/> WR6650S用 ACアダプタ	<input type="checkbox"/> WL54SE イーサネット ETHERNET ボックス	<input type="checkbox"/> WL54SE用 ACアダプタ	<input type="checkbox"/> WL54SE用 ラバーシート	<input type="checkbox"/> ETHERNETケーブル (ストレート) (2本)
<input type="checkbox"/> WR6650S用 スタンド	<input type="checkbox"/> WL54SE用 縦置きスタンド	<input type="checkbox"/> CD-ROM (ユーティリティ集)	<input type="checkbox"/> 保証書	<input type="checkbox"/> つなぎかたガイド (本書)	<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (別冊)

●機能詳細ガイド
ホームページにて本商品のより詳細な機能について説明しています。AtermStation (http://121ware.com/aterm/) より、「サポートデスク」-「機能詳細ガイド」を選択してください。

1 親機 WR6650S を接続して電源を入れよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

- 1 スタンドを取り付ける**
親機を横置きをご利用になる場合
取扱説明書 P.2-3
- 2 ブロードバンドモデムに接続する**
※ブロードバンドモデムは別途ご購入ください。
フレッツ・光プレミアムに接続する場合
CTUのLANポートに接続します。誤ってVoIPアダプタに接続しないようご注意ください。
モニタージャック CTU ブロードバンド接続ポート VoIPアダプタ
- 3 ACアダプタを親機に接続する**
※接続した電源コードはフックにかけてご使用ください。
- 4 ACアダプタを電源コンセントに接続する**
ACアダプタ (電源プラグ) は、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ (電源プラグ) は他の製品に使用しないでください。
- 5 親機のPOWERランプが緑に、ブロードバンド接続ポート状態表示LEDが緑または赤点灯していることを確認する**
緑または赤点灯しない場合は、ETHERNETケーブルの接続状態やブロードバンドモデムの電源を確認してください。
取扱説明書 P.2-5

2 つなぎかたを確認しよう

本商品には、次のような機器をつなぐことができます。

有線で接続

無線で接続

親機のETHERNETポートに接続する場合

- 親機の電源をいったん切り、親機のETHERNETポートとパソコンなどを接続する
※3 取扱説明書 P.5-68
※3 取扱説明書 P.2-16
- 親機とパソコンなどの電源を入れ、ETHERNETポート状態表示LEDが緑または赤点灯していることを確認する

ワイヤレスセット (SE) の場合
(ご購入時点で親機と子機の無線設定は設定済みになっています)

※1 ※2 ※6

WL54SE/WL54TE/WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TUを増設 (追加で購入) の場合
取扱説明書 P.5-82
※1 ※2 ※6

※WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL54SU/WL54TUを接続するパソコンがETHERNETインターフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードおよびLANボード機能を停止させてください。

無線LAN内蔵パソコンなど他の子機から接続する場合
※1

※2 ※4 ※5

※WL11CB/WL11CA/WL11C※4/WL11C2

らくらく無線スタートで無線の設定をしてください。

- WL54SEを増設する場合
→裏面の「無線再設定のしかた」を参照して設定してください。
- WL54SC/WL54AG/WL54SU/WL54TUを増設する場合
→本商品に添付のCD-ROMを使用して設定してください。取扱説明書 P.5-9
- WL54TEを増設する場合
→本商品の機能詳細ガイドを参照してください。
- WL130NCを増設する場合
→WL130NCに添付の取扱説明書およびCD-ROMを使用して設定してください。

それぞれの子機に添付の取扱説明書を参照して親機底面に記載されている無線設定を子機側に設定してください。取扱説明書 P.5-82, 5-87, 5-93, 5-96

- 子機側に、ネットワーク名 (SSID) および暗号化方式 (WEP: 128bit)、暗号化キーの設定が必要です。
- ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーは、大文字と小文字、0 (ゼロ) と O (オー)、8 (ハチ) と B (ビ) などを間違えないように設定してください。
- 親機は出荷時に暗号化設定 (WEP: 128bit (英数13桁)) がされています。WEP: 128bitに対応していない子機や暗号化キーを英数で設定できない子機を利用する場合、親機の設定変更が必要です。いったんパソコンを有線で接続し、クイック設定Webで変更してください。取扱説明書 P.5-4
- 子機側のパソコンがWindows Vista™およびWindows® XP (Service Pack 2以降) の場合、らくらく無線スタートEXで親機との無線接続の設定を簡単に行うことができます。取扱説明書 P.5-87
- らくらく無線スタートEX以外の方法で無線接続の設定をする場合は、本商品に添付のCD-ROMは必要ありません。

- ※1 子機の対応OSについては、カタログおよび各子機の取扱説明書をご覧ください。最新情報については、ホームページAtermStationをご確認ください。
- ※2 WL54AG/WL54TU/WL54TE/IEEE802.11a (J52のみ) 対応無線LAN内蔵パソコンでは、使用する周波数帯/チャンネルが異なるため、IEEE802.11aでの通信はご利用できません。IEEE802.11g+bモードでご利用ください。従来チャンネル (J52) に対応したAtermシリーズ子機のバージョンアップ対応などの最新情報については、ホームページAtermStationをご確認ください。
- ※3 LANポート (100BASE-TX/10BASE-T) を装備していること。
- ※4 WL11C/WL11U/WL11U (W) を接続する場合、親機の無線LAN暗号化設定はWEP128bitに設定を変更する必要があります。
- ※5 WL11E2を接続する場合、親機の無線LAN暗号化設定はWEP128bit 16進に設定を変更する必要があります。
- ※6 WL130NCは、IEEE802.11g+bでのみ、本商品に接続できます。

3 子機 WL54SE を接続しよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

- 1 縦置きスタンドにラバーシート (添付品) を貼り付ける**
※貼り付けたあと、ラバーシート (添付品) 表面のフィルムをはがしてご使用ください。
- 2 WL54SE用縦置きスタンドを取り付ける**
※スタンドは「FRONT」文字のある方を子機WL54SEの前になるように装着してください。
- 3 子機WL54SEとパソコン/ゲーム機などを接続する**
- 4 WL54SE用ACアダプタを電源コンセントに接続する**
ACアダプタ (電源プラグ) は、必ず本商品に添付の「WL54SE専用アダプタ」と記載のあるものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ (電源プラグ) は他の製品に使用しないでください。
- 5 WL54SE用ACアダプタを子機WL54SEに接続する**
- 6 POWERランプが緑点灯していることを確認する**
- 7 LINKランプが緑点灯していることを確認する**
※LINKランプは親機との接続が確立すると点灯します。
- 8 背面のETHERNETポート状態表示LEDが緑または赤点灯していることを確認する**

POWERランプが点灯しないときは?
子機WL54SEにACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

LINKランプが点灯しないときは?
・親機との無線状態がよくありません。親機と子機WL54SEを近づけてみてください。
・LINKランプが点灯しているときは、親機との通信ができていません。誤って初期化した場合は、裏面の「無線再設定のしかた」を参照して、再度設定してください。

背面のETHERNETポート状態表示LEDが点灯しないときは?
接続するパソコン/ゲーム機などの電源が入っているか、ETHERNETケーブルは正しく接続されているか確認してください。

裏面につづく

4 親機★にインターネット接続のための設定をしよう

設定前の確認

- 本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。本商品の設定に必要な情報(接続ユーザー名/接続パスワード、IPアドレス)を契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。
- ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトは、本商品の設定の前にすべていったん停止してください。
- ※パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。停止しない(起動したままでいる)と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止や設定の方法は、ソフトによって異なりますので、ソフトもしくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
- 本商品設定の際、パソコンのネットワークの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」、「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。【取扱説明書 P1-19】
- プロバイダから配布されるPPPoEなどの接続ツール(ソフトウェア)は停止しておいてください。
- WWWブラウザ(Internet Explorerなど)の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」にしておいてください。【取扱説明書 P1-25】
- JavaScript®を有効にする設定にしておいてください。【取扱説明書 P1-26】
- クイック設定Webがご使用になれるWWWブラウザについては、取扱説明書を参照してください。【取扱説明書 導入-1】

1 WWWブラウザを起動し、アドレスに「http://web.setup/」と入力して、クイック設定Web(もしくはWebウィザード)のページを開く



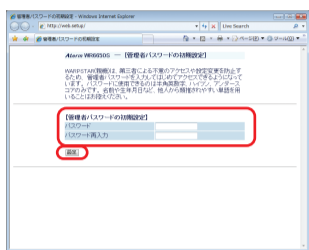
手順2の画面が表示できないときは

手順2とは違ったクイック設定Web画面が開く。→いったん親機を初期化してください。クイック設定WebのらくらくWebウィザード画面は親機をはじめて設定する場合のみ開きます。※親機の初期化方法【取扱説明書 P6-29】初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

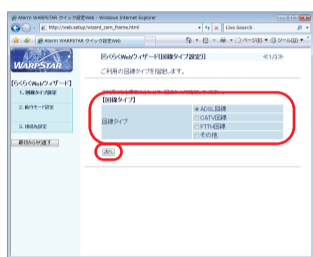
2 画面に従って管理者パスワードを決めて入力し、「設定」をクリックする

管理者パスワード記入欄

●管理者パスワードは、無線LANアクセスポイント(親機)を設定する場合に必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができません。初期化してすべての設定をやり直してください。

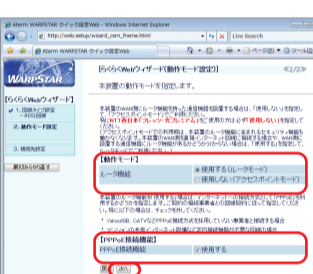


3 利用している接続回線を選択し[次へ]をクリックする



※光ファイバーを利用している場合は、[FTTH回線]を選択します。

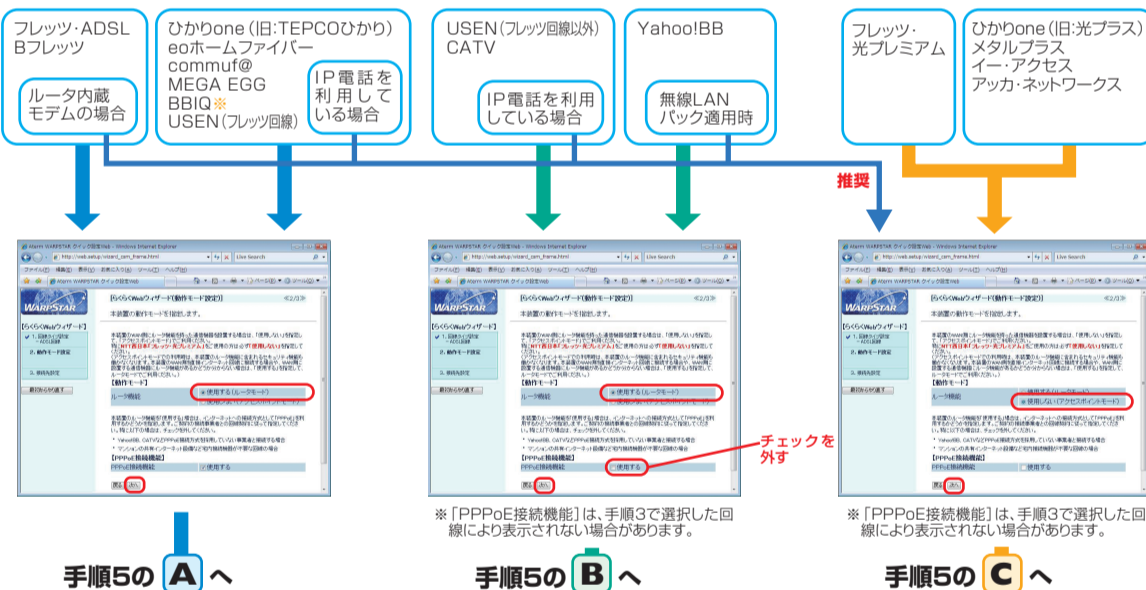
4 接続事業者と接続しているブロードバンドモデムの種類によって親機のルータ機能とPPPoE接続機能の設定を行い、[次へ]をクリックする



ブロードバンドモデムの種類がわからないときは
接続しているブロードバンドモデムにPPPランプがあり、点灯している場合は、ルータ機能を使用しないに設定して、接続を確認してみてください。
※ルータモード(ローカルルータモード)とアクセスポイントモードの使い分け、お勤めの環境については【取扱説明書 P3-7】を参照してください。

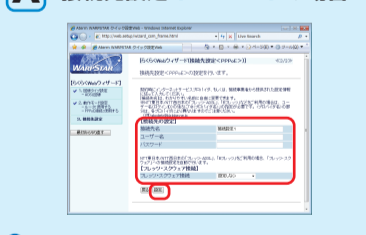
※BBIQをご利用の方は、050番号のIP電話を利用している場合はルータ機能を「使用しない(アクセスポイントモード)」に設定し、050番号以外のIP電話を利用している場合はルータ機能を「使用する(ルータモード)」、PPPoE接続機能を「使用する」に設定してください。

接続事業者(例)(敬称略)



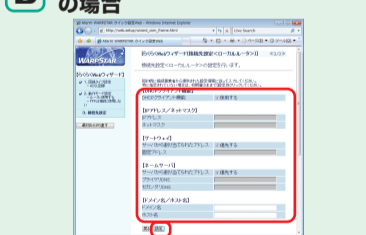
5 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力し、「設定」をクリックする

A 接続先設定(PPPoE)の場合



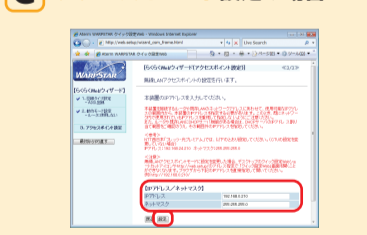
- 1 [接続先名]にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力します。好きな名称でも構いません。
- 2 接続事業者/プロバイダからの情報に従って「ユーザー名」(例:XXXX@biglobe.ne.jpなど)と「パスワード」を入力します。「接続事業者/プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類で確認してください」。
- 3 フレッツ・スクウェアの接続先登録を行うかどうかの選択をします。
※「Bフレッツ」、「フレッツ・ADSL」をご利用の場合のみ選択します。

B 接続先設定(ローカルルータ)の場合



- 1 ご加入の接続事業者の案内に従って入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。
- DHCPクライアント機能/IPアドレス/ネットマスク
接続事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合は、DHCPクライアント機能の「使用する」のチェック(☑)を外し、「固定アドレス」にそのIPアドレス、ネットマスクを入力します。
- ゲートウェイ
接続事業者からゲートウェイアドレスを指定されている場合は、【優先する】のチェック(☑)を外し、「固定アドレス」にそのアドレスを入力します。
- プライマリDNS/セカンダリDNS
接続事業者からDNSサーバーアドレスを指定されている場合は、【優先する】のチェック(☑)を外し、そのアドレスを入力します。
- ドメイン名/ホスト名
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。接続事業者から指定がない場合は、空欄のまま構いません。
- 親機とブロードバンドモデムの接続を確認し「OK」をクリックします。

C アクセスポイント設定の場合



- 接続しているブロードバンドモデムによって親機のIPアドレス/ネットマスクを入力してください。
(例)ルータタイプのADSLモデムのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合
IPアドレス: 192.168.0.210など
ADSLモデムと同じ値
ネットマスク: 255.255.255.0
入力したIPアドレスは、こちらに記入してください。
- ※フレッツ・光プレミアムに接続する際は、IPアドレスを「192.168.24.210」に設定してください。
※あとからクイック設定Webのページを開くには、WWWブラウザのアドレス欄に設定したIPアドレスを入力します。
(例)http://192.168.0.210/(http://web.setup/やデスクトップの「クイック設定Web」アイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。)

6 [OK]をクリックする



画面に「WAN側ネットワークのアドレスとLAN側ネットワークアドレスの競合が検出されました。」が表示された場合は、LAN側のIPアドレスの左から3つ目(192.168.1.1など)が変更されて表示されますので、IPアドレスを確認し、「設定」をクリックします。

これでインターネット接続の設定は完了です。「5 インターネットに接続しよう」に進みます。

5 インターネットに接続しよう

- 1 WWWブラウザ(Internet Explorerなど)のアプリケーションを起動する
- 2 外部のホームページを開く
(例)ホームページAtermStation: http://121ware.com/aterm/

インターネットに接続できないときは

- ▶本商品をお使いになる前に、ブロードバンドモデムをパソコンや他のブロードバンドルータに接続していた場合は、いったんブロードバンドモデムの電源を切って20分ほど待ってからブロードバンドモデムの電源を入れ直すことで解決する場合があります。
- ▶「4 親機にインターネット接続のための設定をしよう」の手順4で設定した親機の動作モードやユーザー名、パスワードなどが違う場合があります。親機を初期化してもう一度、らくらくWebウィザードでの設定を行ってください。
- ※親機の初期化方法【取扱説明書 P6-29】初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。
- それでも解決しない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。【取扱説明書 P6-2】

これで本商品を使用してインターネットに接続するまでの設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、取扱説明書「応用編」、およびホームページに公開されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

無線再設定のしかた

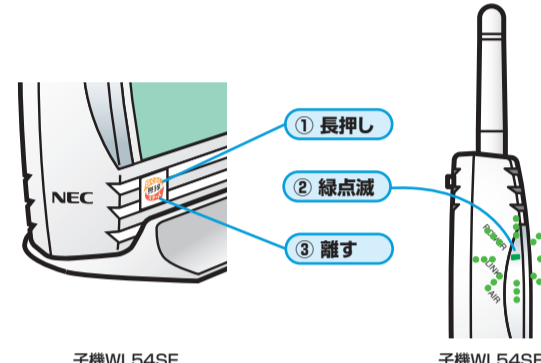
本商品はすでに親機WR6650Sと子機WL54SEの無線設定がされた状態で出荷しています。通常はこのまま接続するだけでご利用いただくことができますが、親機または子機WL54SEを初期化して無線設定が初期化された場合は、次の手順で再設定を行ってください。また、子機WL54SEを増設(追加で購入)の場合も次の手順で設定を行ってください。

再設定する場合は、子機WL54SEを初期化【取扱説明書 P6-31】した状態で設定してください。

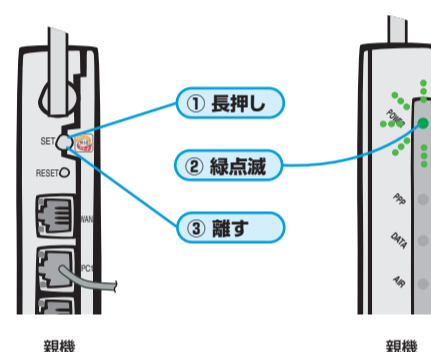
1 子機WL54SEのPOWERランプが緑点灯していることを確認する

電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、子機WL54SEが起動するまでしばらく待ちます。(30秒程度)

2 子機WL54SEのらくらくスタートボタンを長押しして、POWERランプが緑点滅になったら離す



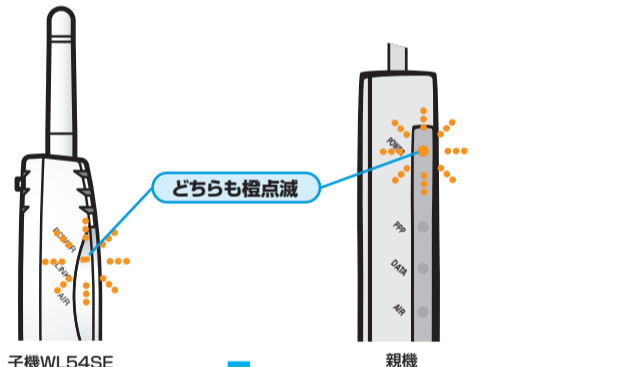
3 親機のらくらくスタートボタン(SETスイッチ)を長押しして(約5秒)、POWERランプが緑点滅になったら離す



POWERランプが緑点滅せず、約10秒間赤点灯した場合は、設定に失敗しています。
→「らくらく無線スタートを行う場合のご注意」を参照してください。

4 しばらく待って親機のPOWERランプと子機WL54SEのPOWERランプ両方が緑点滅に変わったら、親機のらくらくスタートボタン(SETスイッチ)を長押しして(約5秒)、親機のPOWERランプと子機WL54SEのPOWERランプ両方が緑点灯になったら離す

※約10秒間緑点灯すれば設定完了です。(10秒後は緑点灯に戻ります)

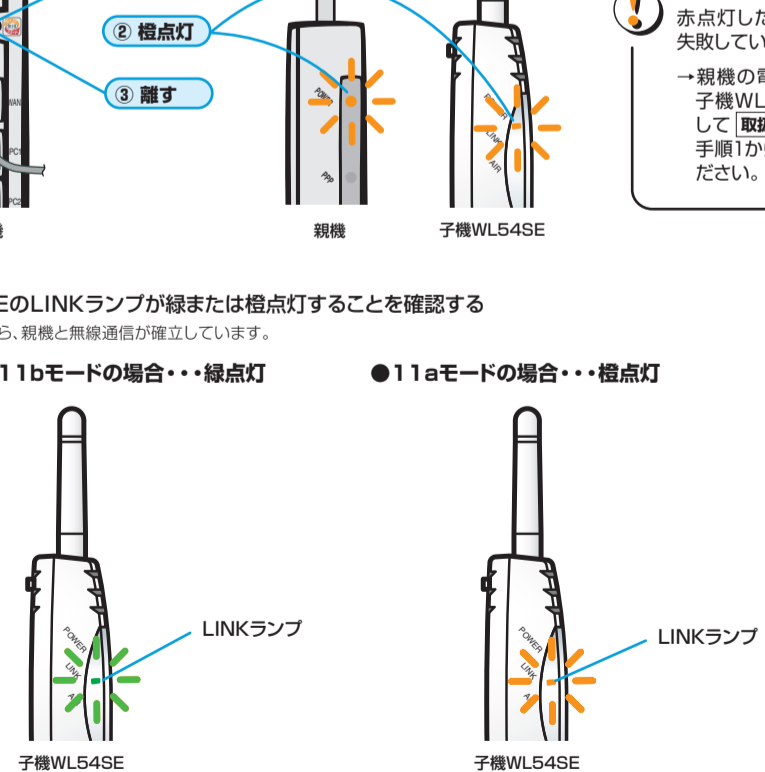


どちらか片方しか緑点滅していない場合は、他の親機または子機と設定を行おうとしている場合があります。
→しばらくして親機と子機WL54SEのPOWERランプが緑点灯することを確認したあと、子機WL54SEを初期化して【取扱説明書 P6-31】手順1から設定し直してください。

5 子機WL54SEのLINKランプが緑または橙点灯することを確認する

点灯が確認できたら、親機と無線通信が確立しています。

- 11g/11bモードの場合・・・緑点灯
- 11aモードの場合・・・橙点灯



赤点灯した場合は、設定に失敗しています。
→親機の電源を入れ直し、子機WL54SEを初期化して【取扱説明書 P6-31】手順1から設定し直してください。

らくらく無線スタートで設定を行う場合のご注意

- らくらく無線スタートでの設定が失敗した場合は、子機WL54SEを初期化してから設定し直してください。【取扱説明書 P6-31】
- 親機側に暗号化の設定がされていることが必要です。(初期値はWEP128bitで設定済み。暗号化キーは本体底面に記載。)
→親機の暗号化設定は【取扱説明書 P5-4】を参照してください。
- 親機側の「MACアドレスフィルタリング機能」(初期値:使用しない)を使用している場合は、エントリーを制限数いっぱいに登録しないようにしてください。
- 親機側の「MACアドレスフィルタリング機能」を使用している場合、親機側に子機WL54SEのMACアドレスを事前に登録していても、らくらく無線スタートでの設定で自動的に登録されますが、制限数いっぱいに登録していると、らくらく無線スタートでの設定はできません。
「MACアドレスフィルタリング」の設定は【取扱説明書 P5-7】を参照してください。
- 親機側で「ESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)」を「有効」に設定している場合でも、らくらく無線スタートでの設定をすることができます。